

令和6年7月豪雨災害被害調査(山形県酒田市)

調査日: 令和6年8月7日

調査者: 三辻和弥・三浦篤史・小国惇浩
(山形大学工学部)

調査地: 山形県酒田市

荒瀬川・日向(にっこう)川沿いの地区

・荒瀬川沿い: 家屋損壊, 法面崩壊,
斜面崩壊, 落橋などの被害激しい
多くの場所で流木が散乱し, 田畑は土砂
で埋まっている箇所も多数あり

・日向川沿い: 複数個所で斜面崩壊

(以降, 地図はすべて上側が北方向)

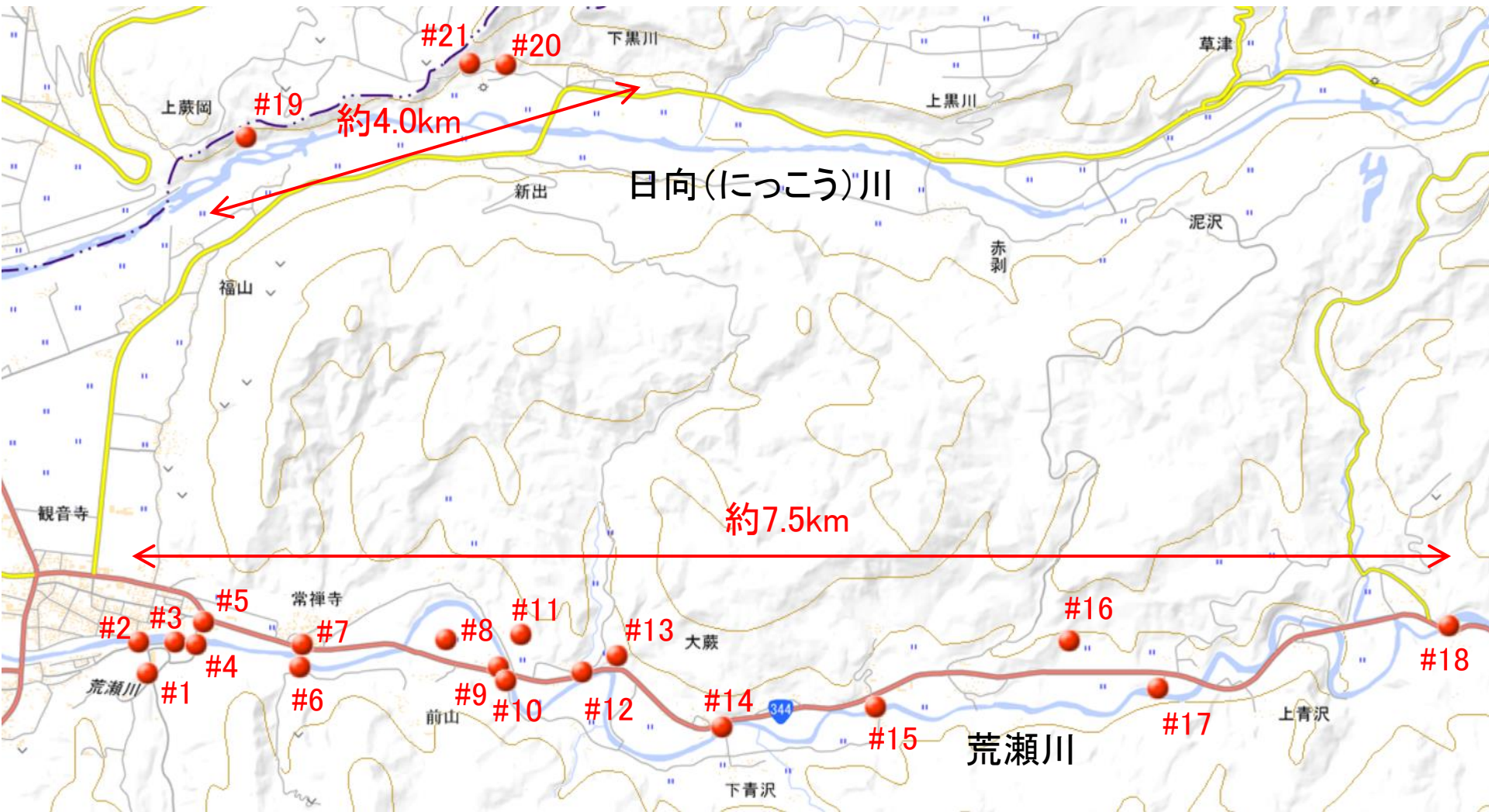
※速報につき、調査範囲が限られていること、勘違いや見落とし等あるかもしれない点についてはご容赦ください。

亡くなられた方にお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を祈念しております。



調査ルート(荒瀬川・日向川)

- ・荒瀬川沿い: 麓地区の八森自然公園付近(#1)～上青沢地区付近(#18)まで国道344号線に沿って直線距離で7.5kmほど
- ・日向川沿い: 福山地区(#19)～下黒川地区(#21)まで県道366号線に沿って直線距離で4.0kmほど
- ・#18よりさらに東側の北青沢地区でも土砂災害など被害報告あり(今回の調査では到達できず)

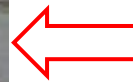


荒瀬川(八森自然公園～常禅寺): 調査地点



荒瀬川(八森自然公園～常禅寺)-1

- ・#4: 水道橋の中央を支えていた橋脚が傾斜
- ・#4～#6: 法面の崩壊とボックスカルバートが流されて散乱している様子(河川の流れる方向と直交方向に土砂に埋まっている)その他、法面の崩壊は上流に向かって多数

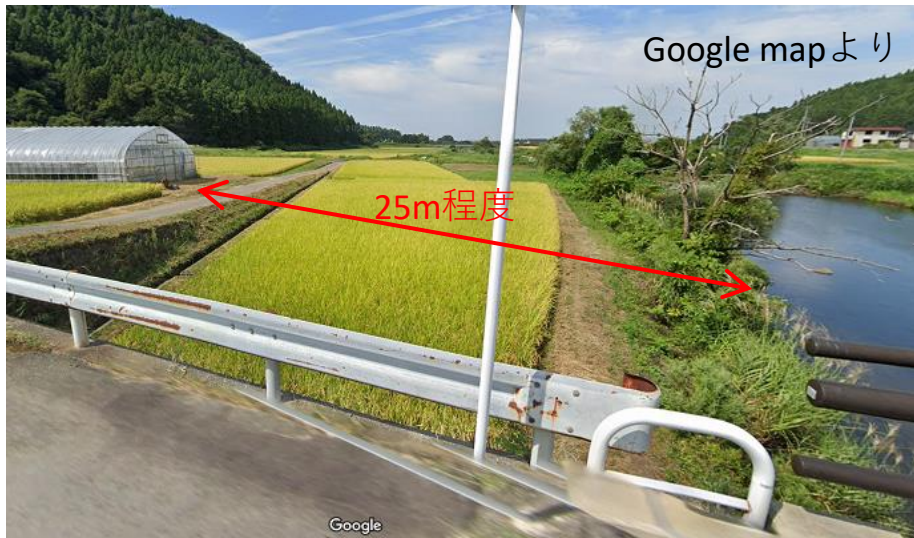


荒瀬川(八森自然公園～常禅寺)-2

・#6: 落橋とビニールハウスの被害



・#6: 被害のあったビニールハウス前の地盤は25m程度の幅にわたって崩壊したか？



荒瀬川(八森自然公園～常禅寺)- 3

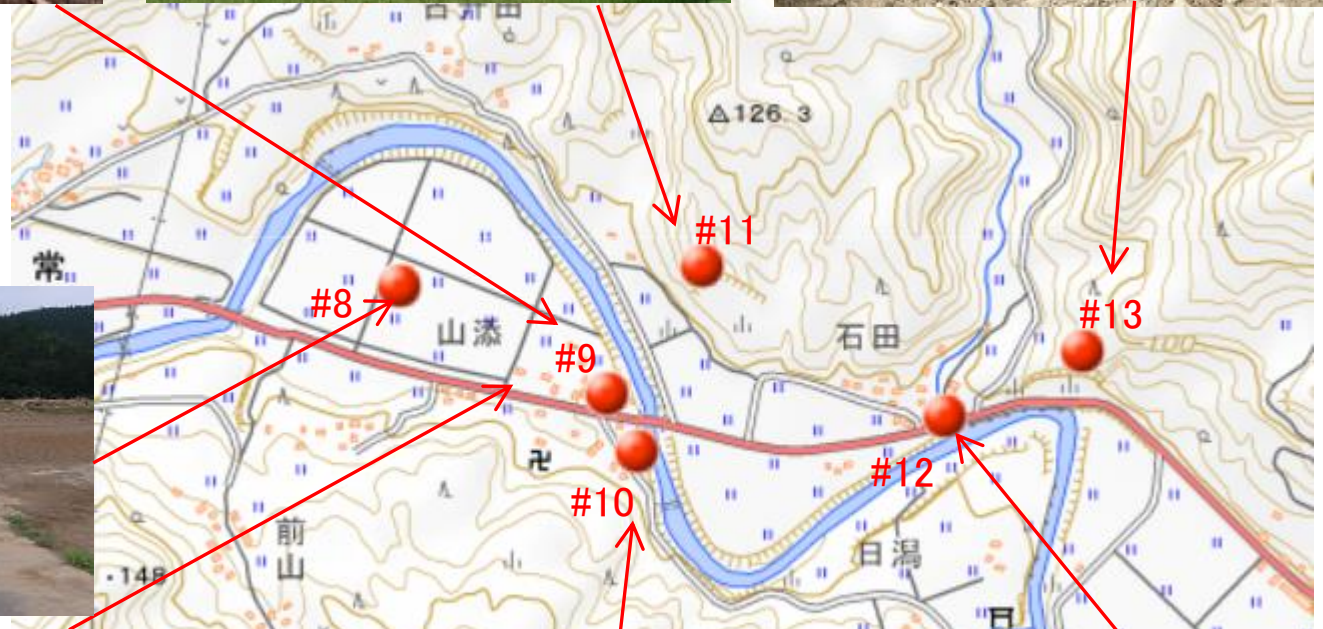
・#7: 大量の土砂が流れ込んで住家の基礎周辺を埋めている



荒瀬川(山添～石田・日湯) : 調査地点



#11はもともと斜面が露出していましたがさらに崩壊した様子



荒瀬川(山添～石田・日瀉)-1

- ・#9: 護岸のコンクリートが崩壊し、住宅が損壊している
- ・損壊住宅多数で、解体工事が始まっていた



荒瀬川(山添～石田・日瀉)-2

- ・#12: 住宅1階(納屋?ピロティ?)部分の損壊
- ・住宅の右側に流れ込んでくる沢の少し奥で斜面崩壊

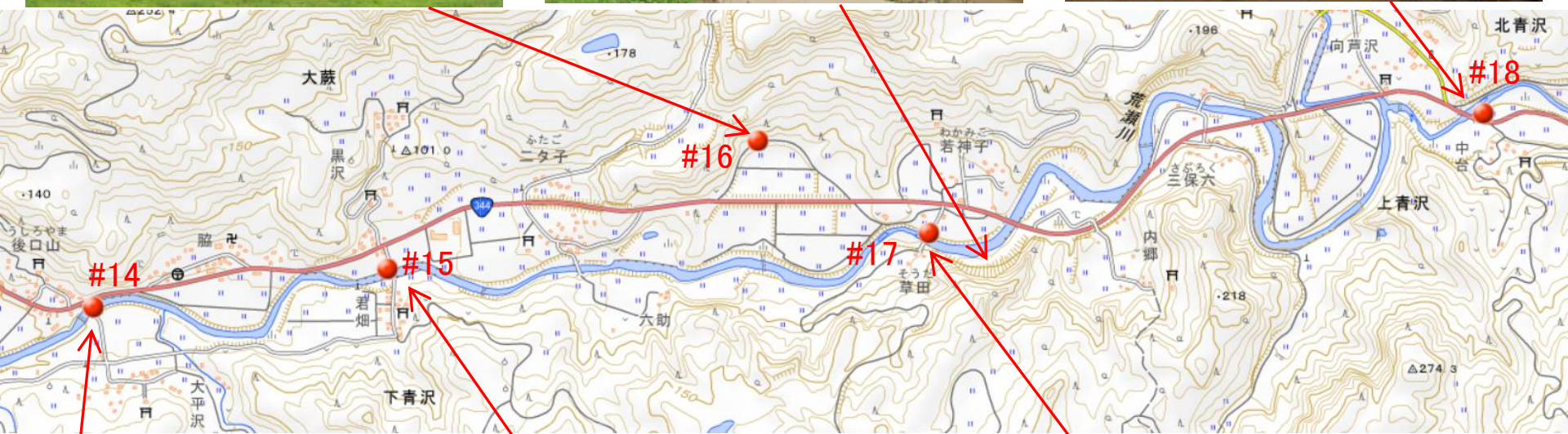


荒瀬川(山添～石田・日瀉)-3

- ・#9の少し西側:住宅下屋部分が沈下して傾斜
- ・盛土した敷地なので母屋部分は地盤改良?
- ・付近の田んぼは土砂で埋まり、流木が散乱



荒瀬川(後口山・下青沢～上青沢):調査地点



荒瀬川(後口山・下青沢～ 上青沢)-1

・#15,の橋が落橋しており, #17は通行不可, #14の橋は通行可能であったが, いずれの橋も橋脚には多くの流木等が絡まっている



荒瀬川(法面崩壊)



荒瀬川(斜面崩壊)



#18の西側



#17の東側



#16



#10付近

日向川(木ノ下～ 下黒川) : 調査地点

